

山行番 No. 1641

日時 2015. 05. 03 (日)

山域 乾徳山 (2031m)

コース 下土狩5:00－御殿場－河口湖－塩山－登山口下駐車場発7:15－月見岩9:33－鳳岩（お
おとりいわ）10:46－乾徳山10:58～11:44－水のタル－国師ヶ原12:45－駐車
場14:04－桃の里温泉－下土狩18:00（反省会なし）

標高差 上り 登山口下駐車場約900～乾徳山2031m＝約1131m
下り //

参加者 L 後藤、秋山・土屋・長谷・渡辺

GW中盤の今日は、昨日に続き晴れで夏日の予想である。もちろん、朝から快晴で、山頂から見られる景色が楽しみだ。

早朝のためか、道路も駐車場も空いていた。朝はまだ10℃と肌寒く、上着は着たままで、やさしい？岩登りのためにリーダーから借りたヘルメットをリュックに詰め、いざ登山に出発。

しばらく未舗装の車道を歩くと登山口。少し歩いただけで暑くなったため、上着を脱ぐ。ガイドマップがあったので、ルートを確認して、リーダー、私、Tさん、Wさん、ラストAさんの順で歩き始めた。GWで、みなさんいろいろ予定があるようで、今日は、5人と少ないパーティーである。

とても登りやすい林の中の道を歩く。林と言っても、新緑が芽吹いたばかりの明るい道で、時おり吹く風が心地いい。人気の山であり、GWなので、登山者も多い。リーダーのペースは、通常よりゆっくりではあるが、他の登山者を追い越し、ぐんぐん登っていく。

錦晶水に着き、途中で出会った若い女性の2人組と一緒に休憩。聞けば、地元山梨の方で、登山歴2年、夏場は、2人で登山を楽しんでいるが、山梨と言うことで、冬場は、雪があり登山はお休みし、ウォーキングで体力づくりをしているとのこと。「冬場は、伊豆の山に来てください」、とお誘いし、リーダーが名刺を渡しました。若い仲間が増えると楽しいですね。

錦晶水の水は、冷たいものの味は、普通でした。長泉の水道水もおいしいですから。この後開けていくとのこと、トイレを済ます。Wさんのペースが遅く少し離れてしまったため、Aさん先頭で、リーダーがWさんの面倒を見るに変更し出発。

少し急になった山道を行くと国師ヶ原の分岐。ここから一回りする予定だ。直ぐに周囲が開け、振り返ると富士山が正面に見えた。月見岩で小休止。岩に登って記念撮影。結構怖い。「これくらいはまだ、岩登りのイだよ。」と言われドキドキ。

予定より少し遅れて扇平着。この先鎖場らしい。確かに足元に岩が増えてきた。少し行くとひらけたところに岩がせり出している道があり、狭くて怖い。その先に第1の鎖場、カミナリ岩。周囲の人に様子を聞くと、「カミナリ岩って感じですよ。」とのこと。ますます怖い。下りる人と登る人が数名いて、少し待つ。周りの景色がよく見える。富士山は、先ほどより近く感じ、ふもとの街までよく見える。右手には、雪が残る南アルプスの山々、北岳がひとときわ高い。

さあ、わたし達の番だ、ヘルメットをかぶり、皮手袋をつける。鎖に頼らず手と足で、登ったほうが良いというアドバイス。まずAさん。足が長いから難なく登ってしまった。

次は、私。なるほどカミナリのようにギザギザの岩で、足場を選ぶ。下が見えたら怖いなあと思



登山口

錦晶水



富士山遠望



月見岩



乾徳山



っていたが、それどころでなく、上へ上へと手と足を出すうち登りきって一安心。Tさんも登って、見上げたら、岩場の上に頂上が見えた。岩登りが好きな人は、たまらないだろうね。

いよいよ鳳岩（おおとりいわ）。下から見上げたら、かなりの角度だ。こちらは、さすがに降りる人は、迂回路を使うようで、登る人待ちのみ。Aさんの登り方を見ておく。まずは、縦の割れ目に足を掛けながら、鎖をしっかり持って登っていく。横の割れ目に来たら、割れ目に沿って登っていく。Aさんが、上からアドバイスしてくれた。登ったところが、もう頂上だった。かなりの人がいて、足元が大きな岩でかなり危ない。ゆっくり移動して、山頂で記念撮影。登りました！迂回路から来た3人と合流し、昼食。岩場なので、気を付けて。Tさんの「わらび」が本当においしい。いつもごちそうさまです。

帰路は、同じルートをとるか、と話したが、予定通り水のタル回りで出発。こちらのコースは、歩きにくいと聞いていたが、ミニ鎖場やはしごがあり、その後も岩が出ていて歩きにくい道をひたすら下る。途中、まだ雪が残っていた。看板に「ガレ場の急下降あり」とあり、下りが苦手な私は、すっかり遅れてしまったが、後ろのTさんに励まされながら下る。こちらのコースは、景色も見えず、風もなく、ただただ下るのみ。林に入ってから、コバイケイソウが群生していた。毒があるらしく鹿も食べないらしい。

なんとか高原ヒュッテに到着。鹿がいた。小休止しているともう1頭。見入っていたら、何やら、声が。リーダーが下から呼んでいた。遅れてすみません。直ぐに出発。ようやく分岐の国師ヶ原に到着、ここで、まだ半分。疲れが膝にきたので、油断せず下る。徐々に南に回っていき、林が明るくなる。錦晶水、銀晶水を過ぎ、林道を超え、車道を行くと、リーダーの姿が、下に。「ここ行くんですか？」と道なき道を半分おしりで滑り降りました。結局、あまり近道になりませんでした…。少し車道を歩き、駐車場到着。わらび売りのおじさんに出迎えて頂きました。

「ももの里温泉」で、汗を流し、帰路に。帰りは、やや渋滞していましたが、無事帰宅。お疲れさまでした。



鳳岩



Aさん



Hさん



Tさん



Wさん

乾徳山頂上



その他の記述（後藤）

1. 駐車場は、前回より下の登山口下。ここまで来る方は少なく、駐車場は空いていた。
2. 中間部登山道の唐松の枝を払ったので、妙に明るかった。
3. 皆さん、それなりに「岩登り！！」を楽しんだみたい。
4. 花は、桜草・一人静等、花は少なかった。5月中旬になると、シャクナゲ・クモイコザクラが咲くようだ。
5. 国師が原の高原ヒュッテが再建され、再開される感じ。三名はトイレを借りた。
6. 駐車場で、地元のオジさんが、ワラビを売っていた。「スーパーでは、350円、350円」とグジャグジャ言っていた。思い切って100円でなければ、買う人はいないね。
7. ももの里温泉は、JAFカードで100ー引きです。



Aさん



乾徳山頂